

# すくわく 報告

テーマ: 様々な感触の体験 ～素材との出会い～

R7年度 1歳児クラス

## テーマの設定理由

- ・入園したばかりの子が、様々な素材から初めての刺激をたくさん受けることで興味関心を高めていきたい
- ・感触の苦手さを感じている子が興味を持ち、楽しめるようになっていく環境設定や保育の展開を考えていきたい

## ねらい

様々な素材や感触に触れることで感触遊びに慣れ、  
遊ぶ楽しさを膨らませていく

# 寒天粘土①、②

## 固さを変えた反応の変化

6/18 ①固め

- ・固くてちぎれない
- ・潰そうとすると跳ね返る楽しさ
- ・低月児はうまく扱えず、遊びが途切れた



6/25 ②柔らかめ

- ・潰したり混ぜたり子ども自身で気持ちに向けて楽しむ
- ・触り心地の変化に刺激を受けていた



気付き

☆提供する素材の感触一つで反応が大きく変わる



# 寒天粘土③

## 自分で形を変える

前回 遊びが発展がしづらいため  
飽きが見られはじめた



今回のねらい  
形を変化させていく楽しさを感じる

8/1

- ・切ったりちぎったり、カップでつもり遊びをしたり遊びの発展が見られた
- ・苦手な子...友だちとふざけつつ楽しさを感じ、自ら顔につける姿も



気づき

☆遊びを少し変化させることで  
自発的な遊びに発展していった

# フィンガーペイント⇒ペインティング(全身)

6/23、30  
フィンガーペイント

- ・えのぐに手を入れてダイナミックに描く
- ・えのぐのバットに手を入れて感触を楽しむ
- ・苦手な子...大人と一緒に紙に手をつけ、描く方に意識を向けるようにした

よりダイナミックに  
楽しめることをねらって



7/9 ペインティング

- ・いきいきした表情で紙の上ののって描く
- ・苦手な子...水遊び感覚で全身で楽しむ子、大人の援助と他児と一緒にやることで楽しむ子



気づき  
☆意識の向け方、楽しみ方へ  
大人がどのように導くかの大切さ  
☆他児からの影響(姿・表情)の大きさ



# その他

## 片栗粉ねんど・ボールプールetc



### 片栗粉ねんど

ねらい: 寒天とはまた異なる素材に触れ、感触を楽しむ

- ・指の間を滑る感触を楽しむ等また異なる楽しみ方が見られた
- ・形作るものや視覚的に楽しめるポイントが薄いので、感触が苦手な子は気持ちが向きづらかった



### ボールプール

ねらい: 全身を使って感触を楽しむ

- ・座ったり寝そべったりしてボールの揺れや感触を楽しんでいた
- ・その中で友だちとの関わりも出ていた

### 氷遊び

ねらい: 冷たさを感じながら、氷ならではの感触を楽しむ

- ・容器の中で滑って手から逃げていく様子や溶けて色が混ざる様子をじっくりと見る等、触れる感触以外のところでも心を動かし楽しむ姿が見られた



# 取り組みを通しての子どもたちの変化

☆最初の頃は、初めて見るものに抵抗感があり、固まっている子も見られたが、毎回大人と一緒に遊びながら、遊び方を広げていったことで、“触れて遊ぶ”ことへの興味関心が高まり、自らまず触れてみて感触を確かめる、感触や素材の違いから遊びを変化させ、楽しさを深めていた。

☆楽しさの深まりから、集中して取り組むことが増え、日常の遊びも集中が持続し、じっくり取り組むことが増えている。

☆互いの姿が見えやすい環境で行ったことで、隣の子を見て遊び方を真似し、更に遊びを深めていく姿も見られた。

☆活動への期待感から、粗大運動、リズムなどの他の活動へも期待を向けて、意欲的に取り組んでいる。

# 子どもたちの姿からの気づき

今回の取り組みを通して、子どもたちの興味関心が芽生える活動の種まきの重要性、子どもたちの反応や視線などから、先の展開を見通してねらいを変化させていくことが更なる関心の深まりに繋がっていく

自然の中で様々なものに触れていくことも感覚刺激として大切なので、今後散歩先などで自然物に触れられるよう、たくさん活動に入れていきたい

# 活動スケジュール

## 実施日

6/18, 23, 25, 30

7/1, 9, 15, 25

8/1, 4, 5, 6, 29

9/1, 5

使用した素材、道具、

寒天、片栗粉、絵の具、食紅、手型スタンプ、  
ボールプール、透明なタライ、筆、バット、  
フロアシート

## 環境の設定

- ・机上活動は2, 3人の少人数で行う
- ・床を使ったダイナミックな活動は全員で行う